

# 生徒指導だより

12月号③  
令和6年12月19日発行  
市川市立東国分中学校  
生徒指導部

冬休みまで残すところ、あと少しとなりました。生徒の皆さんは、普段よりも長い休みということで、学年の先生方から冬休みの過ごし方について話があると思います。今回の生徒指導だよりでは、特に注意してほしい内容などを取り上げます。

## 生活

- ・冬休みのしおりの計画表を利用し、1日の計画を立てて、規律ある生活を送りましょう。
  - ・外出するときは、保護者に「誰と・どこへ・何時に帰る」を必ず知らせておき、帰宅時間を守りましょう。
  - ・家族の一員として積極的に家の仕事を手伝いましょう。
  - ・交通ルールを守り、交通事故にあわないように注意しましょう詳しくは、下記の内容を確認してください。
  - ・危険な場所への立ち入り、危険物の所持や危険な遊びは絶対にやめましょう。
  - ・友人宅や生徒同士だけの外泊はやめましょう。
  - ・インターネット、スマートフォン、携帯電話の使い方には十分気を付けましょう。特に、SNS等に個人情報を載せたり、人を不快にするような書き込みをすることがないように気を付けてください。また、SNS上で知り合った人と実際に会う等の行為は絶対にしないようにしてください。使用時間についてもそれらが生活の中心になってしまうことのないよう、ルールを決めて使用しましょう。
- ☆県条例により、午後6時以降は16歳未満の者のゲームセンターの立ち入りは禁止されています。また、午後11時以降の外出も禁止です。

## 《事故防止について》

### 交通ルールを守りましょう

- ・自転車での事故が多くなっています。自転車安全利用五則を守りましょう。
- (1) 自転車は車道が原則、歩道は例外
- (2) 車道は左側を通行
- (3) 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
- (4) 安全ルールを守る（二人乗り・並進の禁止、夜間はライトの点灯、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認）
- (5) ヘルメットを着用（部活動での自転車での移動は必ず着用）

・自転車で走行中の事故が多く発生しています。危険な運転はしないこと（傘さし運転など）。

※令和6年11月1日より、自転車走行中にスマートホンを使用することへの違反に

対して新しく罰則が設けられました。運転中は使用することがないように注意しましょう。

生活面（冬休みの過ごし方）と交通事故について、伝達しました。約2週間という期間ですが、この期間は年末・年始で街中が大変慌ただしい時期です。世の中の動きに押し流されないようにしっかり自分を見つめ自主的に行動し、今年の反省をするとともに、来年の抱負を具体的に考えてみる事が大切です。学校での集団生活を離れて自分の考えを十分に生かして過ごすことのできる期間です。

(連絡) 冬休み中の荷物の持ち帰りについて 朝日新聞12.18日記事より

**重くてつらくて 登校が憂鬱に**

中学生 石井 紗英  
(東京都 13)

寝起きがよくなる、学校に行くのが憂鬱になる日がある。だるい、好きな授業がないなど理由は色々あるが、特につらいのが通学時の荷物が重いことだ。

小学校に上がり初めてランドセルを背負った日、とても誇らしい気分だった。保育園の時、毎朝すれ違ふ小学生のランドセル姿に憧れていたから。だが毎日、水筒や教材を入れて通学し、金曜と月曜

は体操着や上履きなど荷物がさらに増える日々。5年生からはパソコンも導入され、大変な思いをした。6年生になる頃には、一日も早く中学校にリュックで通学したいと思うようになっていた。

中学生になり、多少は楽になったものの「置き勉」は禁止。多くの教材を持つていかなければならない日がある。私は生徒の個人用ロッカーを大きくして置き勉できるようにし、長期の休みにも継続して使えるようにすればよいと思う。

**ロッカーはばんばん 置き場足りぬ**

中学校教員 匂坂 裕一郎  
(大分県 41)

勤務する中学校には指定のカバンやリュックサックがない。生徒は教科書やタブレット端末、体操服など、たくさん荷物が入る大きなリュックサックで登校する。自転車通学の生徒が多く、前かごには部活動の道具なども載せている。

教室は30人を超える生徒で詰め詰めの状態。後方のロッカーは1人で一つ。荷物の置き場に困っている。ロッカーの上

にブックスタンドを置き、週に1時間だけの実教科の資料集を収納するなど工夫を凝らす。机の中は国語や数学の教科書などでぎゅうぎゅうだ。

課題提出や自学で必要な教科書などは持ち帰り、それ以外は置いていけるが、整理下手な生徒のロッカーは中身があふれんばかり。今は月曜から金曜まで6時間授業という中学生や小学校高学年が多いと思う。負担を減らせるよう、学校に置くものと置き場所を増やしたい。

**「置き勉ダメ」は固定観念では**

地方公務員 秋山 広樹  
(大阪府 36)

娘と息子が小学生なので、私にとって通学時の荷物の問題は身近である。

月曜日の荷物の量は驚くほどだ。ランドセルに加え、手提げ袋には体操服や給食のエプロン、上靴など。学童用の着替えもある。登下校だけで疲れてしまう。

先日、子どもに学校への「置き勉」はいけないのか聞いてみると、基本的に禁止されていて、保護者から申し出がある

場合は可能とのことだった。そんなに置き勉は悪いことなのか引っかけか。もっとも、いたずらや盗難の恐れがあるから禁止されているのかもしれない。

一方で、私たち大人が、そもそも「置き勉はダメ」という考え、固定観念にとられていないだろうか。たかが置き勉と思われるかもしれないが、学校に同じような問題は他にもありそうだ。誰のための教育なのか、見直す重要性を考えさせられた。

冬休みの荷物の持ち帰りに関して、朝日新聞の記事(投稿)が寄せられています。基本的には教材の持ち帰りを推奨していますが、休業期間が短いこともあり、下記の教材の持ち帰りとします。

○タブレット ○冬休みの課題に関連する教材 ○受験に向けて必要な教材 など

**注意**

- ・閉庁日・年末年始休業日は学校に入れません。(12月25日～1月3日)
- ・原則、休業中は荷物を取りに来ることはできません。

**お願い**

- ・上履きは持ち帰りをお願いします。(室内部活も、持ち帰りをお願いします)
- ⇒高校見学や模試など、当日朝に取りにくることがないようにご家庭でも指導をお願いします。
- ・傘も忘れずに持ち帰りをお願いします。

**◎冬休み中の相談機関 電話番号一覧**

相談機関名	相談電話番号	時間帯
24時間子供SOSダイヤル	0120-0-78310	24時間
千葉県子どもと親のサポートセンター	0120-415-446	24時間
千葉いのちの電話	043-227-3900	24時間
子どもの人権110番	0120-007-110	8:30～ 17:15 (月～金)
市川児童相談所	047-370-5286	9:00～ 17:00 (月～金)
千葉県警察少年センター(ヤングテレホン)	0120-783-497	9:00～ 17:00 (月～金)
チャイルドライン千葉	0120-99-7777	16:00～ 21:00 (月～土)